

# triton 235mm PRECISION POWER SAW

## トリトン235mmパワーソー TSJ001

### 取扱説明書

※改良のため主要な機能や形状などは予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



### 重要

この製品には、従来の電気丸ノコにはない幾つかの独自の機構を採用しています。安全に効率よくお使いいただくために、ご利用前に必ずこの取扱説明書を最後まで良くお読みになり、使用上の注意事項や使用方法などについて十分ご理解の上で正しくご使用ください。この取扱説明書は大切に保管してください。

**triton**  
Manufactured by Triton

Triton社 日本輸入販売総代理店

株式会社 リーベ

千葉県船橋市前原西2-17-12 DOGO津田沼ビル

<http://www.triton-japan.com>

## 注意文の警告及び注意の意味について



**警告**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が負傷を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 安全上の注意

- 事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上の注意事項」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上の注意」を全て良く読んで、指示に従い、正しく使用してください。
- この取り扱い説明書は使用する人がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警告

1. ノコ刃の取り付け、取り外し、トリガーストラップの装着、ソーベンチへの取り付け、整備などをおこなう時は、必ずプラグを電源から抜いておこなってください。
2. 不意な始動を避けるためスイッチに指をかけて運ばないでください。ソーベンチに取り付けて使用するときは、作業が終われば必ず丸ノコのスイッチを元に戻してください。
3. 作業時は保護メガネ、耳栓、防塵マスクを使用してください。
4. きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネクタイ、ネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。長い髪は、後ろで束ねるなどしてください。袖口はボタンでとめるか巻き上げてください。
5. 安全カバーを取り外したり、動きを妨げたりしないでください。使用する前に安全カバーが円滑に動くことを確認してください。ソーベンチに取り付けて使用する場合は、作業が終わればノコ刃を下げて安全カバーを戻し、パネをリラックスさせてください。
6. 使用する前に、必ずノコ刃を取り付けているボルト、角度調節のノブ、切り込み深さ調節のレバーが緩みなく締まっていることを確認してください。
7. 丸ノコを手持ちで作業する場合は、切断する材料をクランプ等で台などに確実に固定してください。丸ノコの2つのハンドルを両手でしっかり保持して作業してください。
8. 使用中は決してノコ刃や回転部に手や顔などを近づけないでください。ノコ刃が回転中に切れ端を取り除いたりしないでください。切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると強い反発力が生じ、けがの原因になります。必ずノコ刃の回転が完全に止まってから本体を持ち上げてください。
9. モーターに負荷を掛け過ぎないように送るスピードを調整してください。
10. ノコ刃を回転させたまま台や床などに放置しないでください。
11. 十分に明るく、平坦な場所で作業してください。作業場はきれいに保ってください。
12. 雨の中や、湿気が多い場所、またはぬれた場所では使用しないでください。可燃性のある液体やガスのある場所では使用しないでください。
13. コードは定期的に点検し、損傷している場合は修理を依頼してください。延長コードは許容電流1500W以上を使用してください。損傷しているコードは使用しないでください。
14. 誤って落としたり、衝撃を与えた時はノコ刃や機体などに破損や亀裂、変形が無いことを点検してください。
15. 修理は弊社営業所にお申し付けください。
16. 機体の保管は、子供の手の届かない、乾燥した場所にしてください。

## ノコ刃の取り付け

### ⚠ 注意

- ノコ刃は、必ず刃径235mm及び刃厚2.2～3.5mmで、回転数4500rpm以上のパワーソー用にデザインされた高品質な木工用チップソーを使用してください。それ以外のノコ刃は使用しないでください。(トリトン235mmサンディングディスクは使用可能です。)
- ノコ刃に歪み、ヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

1. 丸ノコのプラグが、電源から抜けていることを確認します。
2. ハンドルを半回転緩めて付属のスパナを取り外します。シャフトロックを押し込み、ノコ軸の回り止をし、ノコ刃を締めつけるボルトを左に回してボルトとアウターフランジを取り外します。
3. 丸ノコの切り込み深さを最大にした状態で、安全カバーをいっばいに引き上げ、ノコ刃をインナーフランジワッシャー部のスペーサーリングに正しくセットします。ノコ刃を取り付けるときは必ず本機についている矢印とノコ刃についている矢印の方向を合わせてください。(ノコ刃に矢印がない場合も、絶対に逆向きに取り付けしないでください。)
4. アウターフランジとボルトを取り付けて、シャフトロックを押し込み付属のスパナで締めつけます。あまり強く締め付けすぎないように注意してください。スパナを元の位置に収納しハンドルを締めつけておきます。
5. 定期的に、ノコ刃を締めつけているボルトの緩みがないか確認してください。

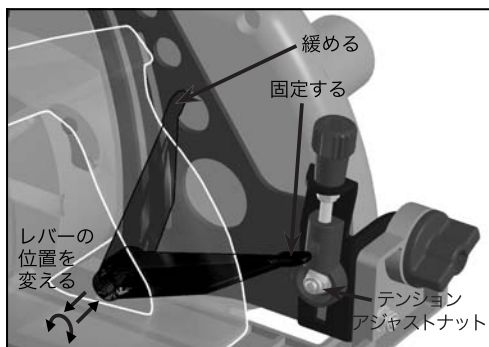


### ⚠ 注意

内径16mmのノコ刃を取り付ける時は、付属のスペーサーリングは取り外してください。

## 切り込み深さの調整

- アジャストレバーを持ち上げ、丸ノコ後方を必要な高さに合わせます。レバーを下げて位置を固定します。アジャストレバーは締め付けすぎないでください。
- アジャストレバーの位置は必要であれば変えることができます。ハンドル方向に横に引いて位置を合わせた後、元に戻します。
- マイクロアジャストノブを回すことで、最大6mm幅の微調整がおこなえます。ノブの回転が堅すぎたり緩すぎる場合は、テンションアジャストナットを回して調整してください。



※ポイント:最大深さの切り込み(84mm)をおこなう場合は、マイクロアジャスタをいっばいに下げてください。



## 傾斜角度の調節

- ノコ刃の傾斜角は、 $-1\sim 46^\circ$ の間で調整できます。また、 $0^\circ$ 、 $15^\circ$ 、 $22.5^\circ$ 、 $30^\circ$ 、 $45^\circ$ の位置にロックする機構が組み込まれています。
- 前と後の角度締めつけノブを緩め①、ベベルラッチを押し②、必要な角度に傾けわずかにモーターを動かすと③、ベベルラッチが戻り角度が固定されます④。前後のノブを締めつけます⑤。
- 他の角度にセットする場合は、ベベルラッチを押し込んでモーター方向に引くとロックが外れます。必要な角度に傾け、前後のノブをしっかりと締めつけます。

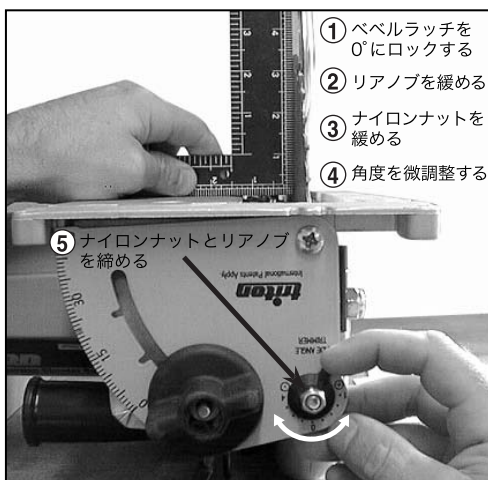


## ノコ刃傾斜角度の微調整

角度調節アジャスタにより $\pm 1^\circ$ 微調整がおこなえます。

- ① この調整をおこなう前に、必ずベベルラッチを $0^\circ$ の位置に固定しておきます。
- ② 後の角度締めつけノブをゆるめます。
- ③ 角度調節アジャスタのナイロンナットをゆるめます。
- ④ 正確な直角定規をあてがい、角度調節アジャスタを回して、ノコ刃とベースプレートまたはテーブルを直角に合わせます。
- ⑤ 調整が終われば後の角度締めつけノブとナイロンナットを締めます。

※ポイント:この調整は、モーターの動きを妨げないように、最大切り込み深さから3mm程度戻した状態でおこなってください。



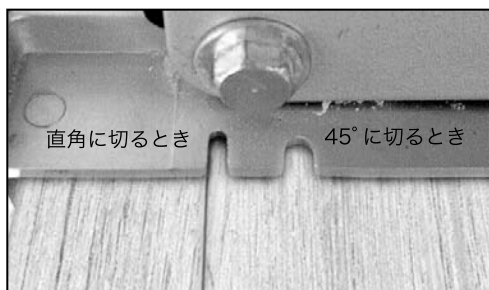
## リッピングガイド

- 付属のリッピングガイドは、ノコ刃の左または右に取り付けることができます。正確にまっすぐ切断したいときや一定の幅で繰り返し切断したいときに使用します。
- ベースプレート前方のガイド取り付け口にガイドを差し込み、必要な幅に合わせた後、つまみネジをしっかりと締めつけます。つまみネジは、必要に応じて内外の穴を選択してください。



## トップガイド

- ベースプレート前方には、ケガキ線に合わせるための刻み目(トップガイド)がついています。直角に切断するときは深く細い刻み目に、45°の傾斜切断をするときは浅い刻み目にケガキ線を合わせます。刻み目の左右の幅が切断ラインになります。
- 内側の刻み目(ノコ刃寄り)がケガキ線と合っていることを確認しながら切っていきます。



## 作業方法

- ベースプレート前方を材料の上のせ、トップガイドの刻み目をケガキ線に合わせます。このときノコ刃が材料に触れていないことを確認してください。
- 丸ノコの2つのハンドルを左右の手でしっかり保持し、スイッチを入れてモーターの回転が完全に上昇し安定したら、そのまま静かにケガキ線に沿って切り進んでいきます。一定のスピードを保ちながら切っていきます。
- 送るスピードが速すぎるとモーターに負荷を掛けてしまい、遅すぎると材料に焦げ跡がつくことがあります。突然動かすとキックバックするなど危険です。



20mm以下の板や木材を切断する場合、ノコ刃先端が5~10mm出るように切り込み深さを調整することでバリが出にくくなります。厚い木材を切断する場合、切り込み深さを最大にセットしてキックバックの危険を減らします。

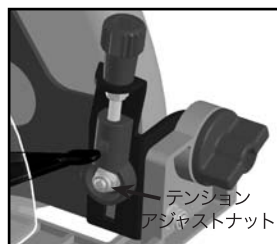
- 安全に正確な切断をするために、可能な限り、ガイドをクランプで材料にしっかり固定して丸ノコのベースをあてがいながらおこなうか、トリトンワークセンターに取りつけて作業してください。やむを得ずガイドなしで切断する場合は、必ずケガキ線を引き、トップガイドの刻み目を合わせながら作業してください。
- 材料は、切断中動くことのないようクランプなどで確実に固定しておこなってください。絶対に片手で材料を固定しながらの作業はおこなわないでください。
- 大きな板や長い材料は特に、切り終える付近で材料がノコ刃を挟み込んでキックバックを起こすことのないよう、材料を確実に固定してください。ベースプレートの広い側を確実に固定した材料にのせて切っていきます。
- キックバックを起こすことのないよう、丸ノコはケガキ線に沿ってまっすぐに送り出してください。材料がノコ刃を挟み込まないように注意してください。(材料がノコ刃を挟み込んでしまう場合は、3mmのスペーサーを切断線に差し込んでおこないます。)切断中ノコ刃に大きな負荷がかかった場合は、すぐにスイッチを切り、ノコ刃の回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。
- 釘や木ネジなどを切らないよう注意してください。
- 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
- ワークセンターに取り付けて使用する以外は、ノコ刃を上に向け本体を固定しての作業は絶対におこなわないでください。



## 保守・点検について

### ⚠ 注意

- ノコ刃を取り付ける前に、フランジ部、ワッシャー、スペーサーリングなどにゴミや汚れ、損傷が無いことを確認してください。ノコ刃の向きを間違えないように取り付けてください。ノコ刃取り付けボルトはしっかり締めつけてください。
- セーフティカバーが円滑に動くことを確認してください。ノコ刃を取り外してセーフティカバー周辺のノコ屑や木片をきれいに取り除いてください。
- 定期的にノコ刃の平面性、チップの状態を確認し、不良のあるノコ刃は使用しないでください。
- 時々、マイクロアジャスタノブの硬さをチェックし、必要であればテンションアジャストナットを回して調整してください。(P3参照)
- モーターの通風溝はきれいに保ってください。



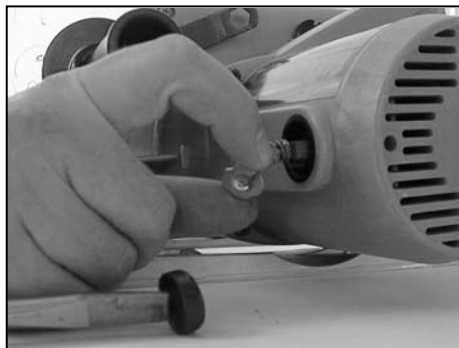
## ノコ刃の手入れ

- ノコ屑や樹液などが付着していれば取り除きます。必要であれば、WD40、RP7、または鉱物性テレピン油などをスプレーして手入れしてください。
- 定期的にノコ刃の状態をチェックし、必要であれば新しい物に取りかえるか、研磨をおこなう業者に依頼して整備するなどしてください。

## カーボンブラシの交換

- カーボンブラシは消耗品です。定期的に取り外して点検してください。
- 点検、整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。モーター側のブラシホルダキャップを外しスプリング部分を注意深く引き抜いてカーボンブラシを取り外します。

どちらか一方のカーボンブラシの長さが6mm以下であれば、左右両方ともトリトン指定の新しいカーボンブラシに取り替えてください。



## トリトン品質保証

工場製造上の欠陥または材質の欠陥が認められた場合は、製品をご購入いただいた日から1年間無料でその部品の交換または修理をいたします。誤った取り扱い、整備不足や事故などによって故障した場合は、保証できませんのでご了承ください。

消耗部品や補修部品等のお問い合わせは、株式会社リーベまでご連絡ください。

### 株式会社 リーベ

千葉県船橋市前原西2-17-12 DOGO津田沼ビル

<http://www.triton-japan.com>

# トラブルシューティング

症 状	考えられる原因	対 処 方 法
丸ノコが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ 電源が入っていない。</li> <li>❷ カーボンブラシが磨耗している。</li> <li>❸ 丸ノコのスイッチ損傷している。</li> <li>❹ 回路が損傷している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ プラグが電源に差し込んであるか確認してください。</li> <li>❷ 電源からプラグを抜き、ブラシホルダキャップを外してブラシがスムーズに動くか確認してください。ブラシの磨耗具合を確認し、必要であれば取り替えてください。</li> <li>❸ 修理を依頼してください。</li> <li>❹ 修理を依頼してください。</li> </ul>
モーターの回転数が上がらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ ノコ刃が磨耗している。</li> <li>❷ モーターに負荷を掛けすぎている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ ノコ刃を新しい物に取り替えるか、整備してください。</li> <li>❷ 送り出すスピードを落としてください。材料がノコ刃を挟み込んでいないか確認してください。</li> </ul>
異常音がする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ 機体が損傷、破損している。</li> <li>❷ モーター内部がショートしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ 修理を依頼してください。</li> <li>❷ 修理を依頼してください。</li> </ul>
モーターは回っているのにノコ刃が回転しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ ノコ刃取り付けナットが緩んでいる。スペーサーリングが正しく取りついていない。</li> <li>❷ 機体が破損している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ スペーサーリング、フランジワッシャーが正しく取りついているか確認してください。ノコ刃取り付けナットをしっかり締めつけてください。</li> <li>❷ 修理を依頼してください。</li> </ul>
モーター内部で激しく火花がでる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ ブラシの動きが正常でない。</li> <li>❷ モーター内部がショートしている。</li> <li>❸ 電気回路が汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ プラグを電源から抜き、ブラシを外して汚れを取り除いてください。必要であれば新しい物に取り替えてください。</li> <li>❷ 修理を依頼してください。</li> <li>❸ 修理を依頼してください。</li> </ul>
安全カバーが戻らない、又は戻りが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ 内部のバネが外れている。又はバネが伸びている。</li> <li>❷ 安全カバーが曲がっている。</li> <li>❸ ノコ屑などのゴミが付着している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>❶ 修理を依頼してください。</li> <li>❷ 修理を依頼してください。</li> <li>❸ ゴミ、汚れを取り除いてください。</li> </ul>